

## Bコース（上限50万円）【提案書】

[公開]

提案名 ※25文字以内	「アフリカ昔話」「横浜昔話」の朗読ショー
グループ名 ※25文字以内	高校生アフリカ昔話・横浜昔話実行委員会
<p><b>【1】 提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。</b></p> <p>【紹介】2004年より横浜の観光紹介、地域振興をテーマに高校生オリジナルの企画を立ち上げ、実践しています。横浜市立高校の生徒が中心となり、企画に関しては大学、専門学校と連携し、実施においては小中学生にも参加を呼びかけています。</p> <p>【実績】2004～09年「横浜おためしイロハバハ計画」修学旅行誘致のために高校生が県外中学へ出張広報 2010年「APEC 大きな絵本ロードクショー」参加21カ国の大昔話を赤レンガ倉庫にて中高大学生で実施 2009年～継続中「よこはま影絵ばなし」都筑区内にて横浜の昔話を影絵に仕立てて市民に紹介</p>	
■ ホームページ	

**【2】 助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。**

月	内 容
4月	アフリカ開発会議参加国の昔話の抽出と挿絵の製作
5月	上記朗読練習
6月	「アフリカ昔話ロードクショー」実施
7月	
8月	横浜の昔話の抽出と挿絵の製作
9月	↓
10月	上記朗読練習
11月	「横浜昔話ロードクショー」実施
12月	
1月	
2月	報告書の完成
3月	報告会

**【3】 助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿って記入してください。**

- (1)活動の内容 (2)活動の主催者及び参加者 (3)活動を実現するための方法 (4)時期 (5)場所
- (6)当地区で活動を行う、また応募の理由 (7)活動を行うことによる当地区へのメリット(効果)
- (8)その他、特徴やアピールする点

**【高校生アフリカ昔話・横浜昔話実行委員会】****(1)活動の内容**

テーマ：昔話に託されたメッセージを今の社会に生かそう！

目的：(アフリカ)横浜市民へのアフリカの知恵や文化の紹介とグローバルな時代を生きる横浜の次世代の育成

(横浜)横浜市民への横浜昔話の紹介による地域資産の継承と地域貢献および横浜の次世代の育成

2013年アフリカ開発会議の横浜開催を機に、市内の小中高大学生が、アフリカ各地に伝わる昔話を影絵にして紹介します。昔話に含まれる古人のメッセージを来場者に伝え、現代の問題を解決し、将来の発展につながる糸口を提案します。同様に横浜に伝わる昔話や開港期の横浜から全国へ波及した発明などを紹介し、地域に誇りと元気を提供します。児童生徒たちはこの体験を通して、集客を伴う地域振興企画の制作を学び、今後に発展させます。

内容：アフリカ(横浜)の昔話をステージにプロジェクタを通して投影して朗読するイベントの開催

**(2)活動の主催者及び参加者**

主 催：高校生アフリカ昔話・横浜昔話実行委員会(横浜市立横浜総合高校)

参加者：横浜市立横浜総合高校、横浜商業高校 市立小学校 市立中学校

協力者：横浜国立大学、NPOミニヨコハマプラス、聖ヶ丘教育福祉専門学校、アーツカレッジヨコハマ 他

**(3)活動を実現するための方法**

①影絵と朗読：アフリカの国や地域に伝わる昔話を影絵に仕立て、児童生徒が朗読する。

・児童生徒製作の挿絵をパワーポイントで編集、高輝度プロジェクタで投影

・児童生徒はアフリカの衣装(横浜版は和装)で朗読

※アフリカ各地の8話を朗読。8話と合間のクイズ等で1時間30分を想定。1日2回公演予定

②各国地域紹介：パネル等による昔話紹介国の紹介。

・来場者に向けたアフリカクイズの実施。

③抽選会等：クイズや抽選によりアフリカ関連の賞品を提供。

・賞品は紹介国大使館を交渉し、提供予定

※横浜版も上記に準ずる(横浜版は3話40分を複数回公演予定)

(4)時期 アフリカ版 6月上旬 横浜版 11月中旬

(5)場所 みなとみらい地区(クインズサークルを予定)

**(6)当地区で活動を行う、また応募の理由**

集客力のあるこの地区から発信する波及効果を期待しています。アフリカイベントに関してはアフリカ開発会議会場に一番近い場所であることから臨場感のあるイベントになると思います。また、横浜の昔話においては最先端の街で古の横浜を紹介するという意義があると思っています。集客性のある場所での開催はより多くの外部協力者を得ることができることから、参加者の意欲を引き出す要因にもなります。その上で横浜の将来を担う高校生、小中学生に継続的なイベントとしてこの地区の賑わいを提供したいと思っています。

**(7)活動を行うことによる当地区へのメリット(効果)**

・小中学生を含めた高校生企画のイベントによるみなとみらい地区の明るいイメージの発信

・将来の横浜を担う若者の育成貢献

・高校生企画という話題性によるマスコミ掲載の可能性が高いこと

**(8)その他、特徴やアピールする点**

前回のアフリカ会議においては参加国首脳夫人を学校(横浜商業高校)にお招きして横浜の紹介などを行っています。今回も横浜が誘致したこの会議に何らかの形で貢献したいと思っています。2004年から始めたこの活動は卒業生が横浜の観光に関連する企業に就職するなど、地域振興にも貢献しています。今回も高校生にとって大きなチャンスを与えていただければ幸いです。

## 収支予算書

グループ名 高校生アフリカ昔話・横浜昔話実行委員会

## 1 収入（自己資金や他の助成金などを記入してください。）

項目	金額	説明（負担者及び負担方法等）
助成金（A）	500000	
自己資金	230000	
合計（B）	730000	(B) ≥ (C)

## 2 支出（助成金対象経費分）

項目	数量 (単位)	単価	金額	説明
会場費	2	270000	540000	クインズサークルで計算
ポスター制作費	1	35000	35000	100枚
チラシ制作費	1	45000	45000	400枚
機材レンタル料	2	35000	70000	プロジェクト（運送費込み）
交通費	40	1000	40000	
合計（C）			730000	【Aコース】(C) ≥ (A) 【Bコース】(C) × 4 / 5 ≥ (A)



